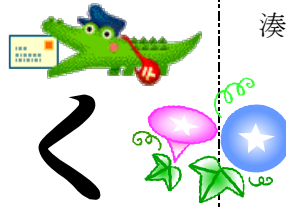


みなとのたより らしく



湊小学校通信

H. 30. 7. 20

NO.4

文責：川村・比内

1学期の御支援に感謝！！



たくさんの方においでいただいた
2回目の校外子ども会

本日をもって、4か月間、授業日数71日の1学期を終了することができました。保護者・地域の皆様の御支援御協力のおかげで子どもたちが安全に学校生活を送ることができましたことに紙面をかりまして御礼申し上げます。

特に、登校時の交通安全指導では昨年度より多くの保護者の皆様や地域の方々にご協力いただけるようになりました。学校も地域の行事にできるだけ多くの子どもの参加させるように努め、子ども会行事では昨年度より参加する児童が多く見られるようになりました。

このように湊小は「地域の中の学校」を柱に据えて教育活動を展開できていてを実感できる1学期となりました。2学期もよろしくお願いいたします。



初めて参加した地区防災訓練

夏休みの生活について

子どもたちは夏休みの生活に入りますが、生徒指導部や各学年だよりで多くのきまりや課題のことについて説明がされていることと思います。

子どもたちはそのきまりを守り、宿題をやれば夏休みで学ぶことは達成と思っていると思いますが、以下のことにも少し意識して取り扱ってみては如何でしょうか？

<生徒指導面>

- 夏休み期間でもしっかり親子の間や地域の方とのあいさつを交わすようにする。
- 「どこに行ってきたの？」「友だちの家」というようなワンワードの会話ではなく、文章でしっかり受け答えする習慣づくりを続ける。
- 「うるせえ～!!」「死ね!!」などの汚い言葉や使ってはいけない言葉を耳にしたら指導し、正しい言い方に直させるようにする。



学校で学んだ力は学校の外で発揮されなければ本当の力とは言えません。「学校は学校、外は外」というスタンスでは1学期に学んだことが元に戻ってしまいます。夏休み期間の生活上の先生は親御さんになりますので、指導をよろしくお願いいたします。

<学習面>

- 興味があることを調べる学習を勧める。
※ 調べ学習の仕方は市立図書館などで教えてくれます。
- 自分が好きな活動（絵、習字、工作、作文など）の作品づくりをする。
※ いろいろな作品募集が学校にきています。出品したい時には先生に相談してください。
- 地域行事や公民館講座などに積極的に参加し、学校では味わえない体験を積む。

今、子どもたちには知識の習得だけではなく、身に付けた知識を応用して何かを調べたり、作ったりする力が求められています。この力を培う為にも多くの体験、活動に挑戦させてみることをお勧めします。



